

平成28年度 学校法人 今川学園 事業報告書

1、法人の概要

①名称：学校法人 今川学園 【昭和45年11月26日設立】

②住所：大阪府松原市天美北3-10-18
電話番号 072-337-1580
ファックス 07-336-3843
ホームページ <http://www.KONOMI-k.ed.jp>

③設置する学校：木の実幼稚園
定員480名
実員355名 (平成27年度 351名)

④理事長氏名：今川公平
*理事7名 評議員15名 監事2名 定例理事会年2回開催

⑤教職員の状況
木の実幼稚園：教員27名(非常勤1名・出向1名) 職員1名 派遣職員5名
給食調理担当4名

平成28年度新規採用者3名
平成27年度 退職者3名

2、平成28年度 木の実幼稚園の概要

①定員、学年、実員内訳、学級数

定員480名	平成28年	幼稚園児実員355名	
	3歳児	5クラス	111名 前年度120名
	4歳児	6クラス	127名 前年度118名
	5歳児	4クラス	117名 前年度113名
	未就園児クラス		55名 前年度 58名
	総合計		410名 前年度411名

②教育目標及び方針

【教育目標】

a, 生活指導上の基本目標

- ・あいさつが出来る。 ・感謝の気持ちが持てる。
- ・けじめがつけられる。 ・自分のことは自分で出来る。
- ・友達のこととも思いやる事が出来る。

b, 表現活動を通して、豊かな「感性」と「心」を育てる。

～造形、音楽、言葉による表現活動を通して、感じたことを素直に表現し、
喜ぶ心を育てる。

c, 自分で考え、行動できる子供に育てる。

～いろいろな事柄、現象に興味を持ち、「何故」「どうして」「どうなるだろう」と考えられる力を育てる。

d, 友達と積極的に遊び、いろいろな遊びの工夫出来る子に育てる。

e, いろいろな遊びを通して、健康な心身を育てる。

【保育方針】

a, 日々の「遊び」を子ども自らが見つけ、広げ、熱中できるような、「確かな援助」と「環境作り」を保育の基本とする。

b, 「子ども一人一人の心情と思いを大切に」し、共に喜び、感じ合える人間関係をみんなで作り上げていく。

c, 子どもそれぞれの表現を知り、価値を認め、子どもの表現を保育の中に生かす。

d, 日々の遊びの中で確かな「自由感～ああもしてみよう、こうもしてみよう」「達成感～こんなことできたよ」が身につくよう、常に子ども一人一人をしっかりと見守る。

e, 様々な「もの」や「自然」と出会い、感じ、確かめ、遊びに取り込める環境作りを行う。

f, コーナー活動と全体活動それぞれの良さを生かし、互いに深くかかわる保育を作りあげて行く。

g, 保育者が活動を一方的に与えるのではなく、子どもと共に活動を見つけ、子どもと共に「生活を作り上げて行く」。

◇保育のモットー「誉めて育てる～誉める時は大きな声で、叱る時は小さな声で」 「子ども一人一人をしっかりと受け入れよ」

③保育時間

- 月曜日～金曜日 Aグループ 9：10～13：40
Bグループ 10：10～14：40
- 土曜日 月1～2回の親子の集い

④保育料及び諸経費

- 保育料：1, 2年保育～26, 400円/月 3年保育～27, 400円/月
～共に給食費4, 400円を含む。
- バス協力費：4, 000円/月

⑤入園時の費用

- 入園料：1, 2年保育～40, 000円 3年保育～50, 000円

○設備協力費：20,000円

⑥預かり保育

○月～金曜日：13:40～17:00

○夏休み及び冬休み中の預かり保育を年間20日間実施

⑦行事の実施状況

○4月／入園式、始業式

○5月／創立記念日、身体計測、個人懇談会、春の遠足、防犯訓練

○6月／プール開き、参観日、耳鼻検診、視力検査、内科検診

○7月／七夕祭り、終業式、夏季保育、夏季特別預かり保育

○8月／夏休み、地藏祭り、夏季保育、宿泊保育

○9月／始業式、参観日、火災避難訓練、移動動物園3回、入園説明会

○10月／運動会、参観日

○11月／秋の遠足、大阪府私立幼稚園連盟 公開保育実施

○12月／音楽発表会、個人懇談会、クリスマス会、終業式

○1月／始業式、防災訓練、参観日、身体計測、歯科検診

○2月／節分、造形展、入園説明会

○3月／雛祭り、お別れ遠足、卒園式、参観日、終業式

⑧実施した主な事業の概要

- ・大阪府私立幼稚園連盟主催の公開保育を実施し、アートを中心としたプロジェクト型保育の実際と実践発表を行った。
- ・オリジナルデザインの木製大型遊具を設置し、合わせてバスケット周辺のフェンス整備工事を同時に実施した。
- ・東側大運動場及び中央運動場の土質改良工事を実施した。
- ・主事及び保育アドバイザー 新職務を導入した。

3、財務の概要

園児数は3歳児以上で前年度比プラス3名、2歳児未就園児クラスでも定員いっぱいの利用者を数え、園児数は減少せずクラス数15クラスを維持できた。

対前年度比でクラス数を1クラス圧縮したため、経常費補助金は前年度比で若干減少したが、28年度の経常収支は1300万プラスを確保でき、前年度より経営の安定を確保できている。

前年度にも述べたが、認定こども園化(言い換えると保育所機能の付加)しない中での園児数の増加は、質の高い幼児教育に対する保護者の要望と本園に対する期待が依然として高いことを示していると考えている。

この為には、まずは良質な教員確保のための待遇改善(給与の大幅ベースアップ・労働時間の短縮化などの労働状況の改善)を3歳児から5歳児までの保育料を一元化し、保育料収入の安定化によって実現していくことが急がれる。

また施設のハード面では、子ども目線に立った安全化・安心化に積極的に投資し、改修と手直しを継続していく必要がある。この為の予算調整の工夫が一層望まれるところである。